

一人ひとりに
寄り添う政治を。

世田谷
ち谷

世田谷区議会議員

無所属

つるみけんご

通信
vol. 18

世田谷から未来を変える。

特定の団体や企業のためではなく、しがらみのない立場で、本当に困っている人の声を受け止められる”一人ひとりに寄り添う政治”の実現を目指して「つるみけんご」は、活動を続けます。

つるみけんご 鶴見健悟プロフィール

- 1986年(昭和61年) 10月12日生まれ 35才
 - 世田谷区立駒沢保育園、駒沢小学校、駒沢中学校、東京農業大学第一高等学校、東京農業大学応用生物科学部バイオサイエンス学科卒
 - JA東京中央会 元職員
 - 衆議院議員 長妻昭 元秘書
 - 公務員試験専門 喜治塾 元講師
 - 世田谷区議会議員に初当選(得票数4,491票)
- 企画総務常任委員会、DX推進・公共施設設備等特別委員会に所属



つるみけんごは
“認知症サポーター”です！

このたび、「つるみけんご通信」をお手に取って頂き、誠にありがとうございます。

本通信では、令和4年9月に行われた「世田谷区議会令和4年第3回定例会の一般質問」の内容をまとめました。お読みいただけましたら、幸いに存じます。

※今回のチラシでは紙面の都合上、定例会で扱ったテーマのすべてを載せることはできませんでした。掲載できなかった内容を含め、議場での質問の様子は、右のQRコードよりご覧いただけます。



世田谷区議会
インターネット
議会中継

つるみけんごの
会議の録画映像を
ご覧いただけます。

質問 世田谷区で増加する不登校。今、子ども達に何が起きているのでしょうか。

～すべての子どもが楽しく前向きな気持ちで登校できる学校づくりを～

質問の趣旨

本年3月に策定された「第2次世田谷区不登校支援アクションプラン」によると、区内の不登校児童・生徒数は年々増加し、令和2年度では小中学校合わせて968名にのぼります。

特に顕著なのは、中学校における不登校生徒の割合です。世田谷区内の不登校生徒の割合は全国・都と比較して、高い水準にあります。

世田谷区としては、不登校特例校(文部科学省が指定し不登校児童生徒等の実態に配慮した特別の教育課程を編成することができる学校)の取り組みに注力されていることは理解しますが、今一度、原点に立ちかえり、「すべての子どもが楽しく通える学校づくり」ということを大前提として、不登校施策に向き合うべきではないかと提言しました。

子ども達がなぜ不登校になったのか、子ども達が学校に楽しく通えない要因は何か、それらを的確に把握し、子ども達の求める施策を組み立てることこそ、今、教育委員会に求められている、と訴えました。

そのうえで、「すべての子どもが楽しく通える学校づくり」のために、区としてどのような取り組みを今後展開していくのか、現状と課題の解決に向けた具体的方策を教育委員会に問いました。

教育委員会の答弁

区の不登校児童・生徒数は依然として増加傾向にあり、令和2年度で968名、令和3年度においては1200人を超える状況となっている。

不登校にある子ども達やその保護者を対象とした実態調査を実施して、その結果分析から取り組むべき課題を抽出し、

それらをもとにすべての子どもにとって学びやすい環境について検討を重ね、魅力ある学校づくりにむけた具体的取組につなげていく。



つるみけんごコメント

今回の質疑で「実態調査」を行うという方向性が示されました。調査についてはぜひとも進めるべきと思いますが、一方、不登校とまではいかないまでも悩みを抱える子ども達がいることが想定されます。そうした子ども達の現状もカバーできる調査をしていく必要があると考えます。この点は議会でも指摘しました。

引き続き、「すべての子どもが楽しく前向きな気持ちで登校できる学校」の実現のため、教育政策の充実に取り組んでまいります。



つるみけんごからのお願い



「つるみけんご通信」のポスティング作業

つるみけんごの議会報告レポート「つるみけんご通信」のポスティング作業へのご協力をお願いいたします。ご自宅の周辺のお宅のポストに投函して頂く作業です。時間・部数などの指定はございません。少しの部数でもご協力いただけましたら幸いです。

お電話:03-6322-0575 メール:kengo@k-tsurumi.net

質問 世田谷区はコロナ禍の影響を受けた区民生活の実態を捉えられているのでしょうか

～高齢者の生活実態に合わせた政策立案を～

質問の趣旨

約2年半に及ぶコロナ禍は、学校における教育環境、地域社会における働き方、区内産業の業態転換など、区民生活の隅々まで多大なる影響を及ぼし、特に高齢者の方々の生活の変化と孤独化、それに伴う健康面への影響、認知症の進行や虚弱化などが心配されております。

限られた財源で効果的な施策を展開していくには、その前提として、事実や根拠に基づく政策立案のために「現状を正しく把握する」ということが極めて重要であると指摘しました。

そのうえで、この2年半、区としてコロナ禍の影響による区内の高齢者の方々の生活の変化やその実態をどのように把握してきたのか、区に問いました。

併せて、コロナ禍の影響を受けた区内の高齢者の生活実態に合わせた政策立案における区の「基本的姿勢」と短期的・中長期的な対策について、区の考えを問いました。



区の答弁

ケアマネージャー等の訪問など重層的な実態把握に努めるとともに、介護予防事業により参加者の健康状態の変化を把握するなどの取り組みを行ってきた。支援を要する高齢者をより早く把握するための取り組みやオンラインを活用した介護予防事業を継続するとともに、身近な地域や地区でのフレイル(虚弱体質)予防の取り組みが活性化するように、第9期高齢・介護計画において、介護予防教室の実施拠点や通いの場の充実について検討していく。



つるみけんごコメント

今回示された取り組みは重要なものではありませんが、一方で高齢者の方々の「コロナ禍の影響と実態」を区が的確に把握できているか、どのような分析をしているかということについては今回の質疑では明らかになりませんでした。この部分については、引き続き、担当部署等と意見交換をしながら実態に合った施策につながるよう努めてまいります。

コロナ禍による影響は今回取り上げた高齢者の健康問題のみではありません。子どもの免疫力やコミュニケーション能力など中長期的な視点も必要です。引き続き、実態を捉え、的確な施策が組み立てられるよう提言を続けてまいります。

質問 高齢者の方々が必要とする「居場所」はいつまでに整備されるのでしょうか

～見えない具体策と整備スケジュール。いま求められる“新たな居場所”を～

質問の趣旨

本年6月の第2回定例会一般質問において、区は、高齢者が「気軽に外に出ていくことができるくつろぎの場」について、「地域包括の地区展開を踏まえながら、将来的には『各地区単位』に整備を図っていくことを目標としている。」と答弁しました。

現在、高齢者の「新たな居場所づくり」の取り組みでは、千歳温水プール、ひだまり友遊会館、代田地区会館という3か所の既存施設が活用されています。

その他、令和5年度からは寺町区民会館、令和7年度にはふじみ荘跡地の高齢者施設の一部を利用したモデルの取り組みを行う予定ですが、今後、各地区単位(区では区内に28あるまちづくりセンターの管轄する範囲を「地区」と呼んでいます)での整備となれば、財政的な観点からは相当の創意工夫が求められることになります。

これらのことを踏まえ、高齢者のくつろぎの場としての居場所づくりにおけるモデルの取り組みのその後の「各地区への展開」と「整備スケジュール」について、区の考えを問いました。

区の答弁

今後の身近な地区での居場所については、一層気軽に訪れ、寛げる場としていくことが不可欠であると考えている。そのため、今年度中に、先行している居場所事業の利用者アンケートを実施し、その後、関連所管とともに先行する居場所事業の検証や各地区の資源の状況等も踏まえ、具体の検討を進めていく。



つるみけんごコメント

今回の答弁では、「各地区への展開」と「整備スケジュール」については明確な答弁はありませんでしたが、区が「今年度中に利用者アンケートを実施する」と表明されたことは一歩前進だと考えます。

一方、「利用者アンケート」は、その場を利用されている方のみに調査対象が絞られてしまうという問題点があります。

本来的には、こうした施策に結びついていない方のニーズを的確に把握して、そこに合致した施策を模索していくことが、「新たな居場所づくり」の本質であると考えます。

人は誰でも年を重ねていきます。「高齢者の居場所づくり」は、世田谷区がいつまでも住み続けたい街であるために必須の施策ともいえるものです。この街に住む区民の皆様にとって、この世田谷の街が住み続けたい街になるよう、引き続き多角的な視点から「居場所」の創出に取り組んでまいります。



学生インターン&政治を志す若者募集中!!

私が初めて政治に携わったのは社会人2年目、サラリーマンをしながら休日にボランティアで政治家の方の活動をお手伝いさせて頂いた時でした。その後、転職し、衆議院議員ながつま昭さんの秘書として、政治の現場で様々な事を学ばせて頂きました。

私はまだ区議会議員1年生ですが、ぜひとも若い世代の方々に政治を肌で感じてもらいたい、これからの政治のあるべき姿をともに描いていきたいと考えております。

政治にご関心のある方のご連絡をお待ちしています。ともに「政治のあるべき姿」・「地域のあるべき姿」を考えていきましょう!

